

職員の採用案内

国民の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序の維持にあたっている警察職員は、警察官と一般職員とで構成されています。

四国警察支局では、国家公務員の一般職員として、国家公務員採用試験と選考採用により「警察庁事務官」（事務系職員）と「警察庁技官」（技術系職員）の採用を行っています。

○採用区分、採用予定人数

区 分	国家公務員一般職試験	選考採用 (国家公務員試験によらない採用)	採用予定人数
警察庁事務官	大卒程度試験：行政四国 高卒者試験：事務四国	なし	3人 (昨年度3人)
警察庁技官	大卒程度試験：技術系区分の全て 高卒者試験：技術系区分の全て	電波法による無線従事者免許 「第一級陸上無線技術士」保有者	10人 (昨年度11人)

○業務内容

・警察庁事務官

警察庁事務官は、現場の警察官や一般職員が職務執行に専念できるように、各種警察活動の土台作りとなる役割を担っています。

具体的には、現場で必要とされる各種資機材や施設の整備及び維持管理に係る契約事務、職員が警察活動を行う上で必要な旅費支給等の会計業務のほか、職員個々が安心して職務に専念できるように、給与支給、勤務時間管理、福利厚生等の業務に従事しています。業務内容は多岐にわたりますが、どれも警察活動の遂行に欠かせない重要な業務です。

・警察庁技官

警察庁技官は、平常時における警察情報通信を確保することはもちろんのこと、重要事案、事故、災害等の突発的な事態においても迅速に所要の警察情報通信を確保することを使命としています。警察の「神経系統」として全国に張り巡らせた無線多重回線や電気通信事業者の専用回線等により構成される警察基幹通信網を整備し、維持管理するほか、災害・事件現場等において通信網を確保し、警察本部等への現場映像の伝送を行っています。

また、情報社会の急速な進展により、電子機器等があらゆる犯罪に悪用され、犯罪の取り締まりにおいても高度な技術的知見が必要となっていることから、警察庁技官は、県警察からの要請を受け、捜索・差押え等における技術的な指導や、押収された電子機器等に記録された電磁的記録の抽出・可視化等を行っています。